

# 水土里ネット 活動報告

## ■メロンの里、畑地かんがい施設見学会 —水土里ネット浜口—

7月15日(火)、水土里ネット浜口(三種町浜口土地改良区)は、地元の八竜中学校(加賀英与校長)3年生63名を対象に、畑地のかんがい施設見学会を実施した。

この日は、初めて中学生を対象に施設見学会が開催され、開講式での三浦理事長(水土里ネット浜口)



の挨拶に引き続き、水土里ネット職員の案内で畑地かんがい施設、トラクターによる耕起作業体験、スプリンクラーの散水状況見学、メロンの収穫体験など多彩な内容で行われた。

生徒たちには事前に説明用パンフレットが配布されていたが、実際には初めて土地改良施設を見学する生徒がほとんどで、興味深そ



うに畑地かんがい施設や管理する水土里ネットの役割について熱心に説明を聞いていた。

メロンの収穫体験では、農家の方から完熟したメロンの品種や見分け方等を聞



いた後に一齐に宝(メロン)探しが始まり、生徒たちは真剣に品定めをしながらも楽しそうにハサミを入れて収穫していた。今回は、農業は楽しいと感じてくれている生徒が多く見受けられ、校長先生をはじめ各先生方の積極的な協力で有意義な施設見学会を実施することができ、地域農業の将来を担う若者が誕生してくれることを期待したいと願っている。

なお、参加した生徒からの感想文と、加賀校長先生からお礼のメッセージが水土里ネットに届いておりますので、紹介させていただきます。



### 校長先生 (お礼)

「毎日の食卓、メロンなの」と苦笑いするものの、直接自分で収穫したメロンを手にとってみると、宝石でも持っているかのようにほほ笑んでいる。実体験の少ない現代っ子でも、地域には、宝物が豊富に眠っているようです。八竜の特産品となっているメロンも、開拓からこれまでの歴史を見ると、その苦悩が、そして、今が。生徒の多感な時機に、身近な存在すら忘れがちな地域の学校に新風、いや不易なものを与えて下さいました。

三種町浜口土地改良区の皆様はじめ、多くの方々のご協力とご支援に感謝するとともに、次代を担う生徒に、これからも多くの宝物を提供して下さいますようお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。

三種町立八竜中学校

校長 加賀 英与



生徒（感想文）

私は今回初めてメロンの収穫を体験しました。メロンの収穫の仕方やコツなどを親切に教えてもらったりしたおかげで楽しい時間を過ごすことができました。

その他に初めて知ったことがあります。それはいつも私達が食べている野菜やメロンなどは、八郎潟の水を利用して作っているということです。いつもなにげなく食べている物にはいろいろな人の工夫や努力が詰まっていると改めて感じることができました。

今回の「メロンの里、畑地かんがい施設見学会」では土地改良をはじめたくさんの方々にお世話になりました。また、トラクターによる耕起作業体験などいろいろな事をさせてもらうことができてよかったです。本当にありがとうございます。

三種町立八竜中学校 三年 榎森 彩花

メロン施設見学会を終えて、僕は改めて自分のふるさとの自然が素晴らしいことを感じました。

今まではふるさとの自然のことを考えたりはしていませんでした。でも、今回の見学会でメロンができるまでの一つの作業を経験して地域の人々ががんばっていることが分かりました。

僕の家もメロンを作っています。僕も手伝ったことがあるのでメロン作りの大変さがよく分かります。

こうしてメロン作りができるのも土地改良の人達が畑地かんがい施設の管理をしっかりやってくれているからだと思います。十年先も二十年先も八竜の特産品であるメロンが食べられるようにこの環境と施設を守ってほしいです。

最後に今回僕達にこのような機会を与えてくれた土地改良のみなさん、本当にためになりました。ありがとうございます。

三種町立八竜中学校 三年 畠山 祐希

■鹿渡小学校による農業施設見学会

—水土里ネット琴丘—

6月19日(木)、三種町立鹿渡小学校5年生25名を対象に水土里ネット琴丘(琴丘土地改良区)が農業施設見学会を開催した。

この取組は、21創造運動並びに国営造成施設管理体制整備促進事業の推進活動の一環として行われたもので、「田んぼの水の話～田んぼの水はどこからどこへ～」をテーマに、田んぼの水がどこから流れてきて、どうやって田んぼに入り、どこへ行くのか、その仕組みを直接現地を訪れながら学



習した。

見学した施設はいずれも同水土里ネットが管理する羽根川ダム、ヒダケため



池、糸流川ポンプ場、地先干拓排水ポンプ場などで上流から下流へと順次水の流れに沿った形で各施設を見学した。

各施設では、水土里ネット職員が施設の仕組みや役割などを分かり易く説明し、子供たちは熱心に説明に聞き入っていた。

今回の見学会を通して、子供たちが普段何気なく目にしている田んぼや農業施設の役割を理解し、今後も関心を持ってくれることを期待したい。



# 「水土里の郷 わくわく探訪」開催される!!

— 寒風山の湧き水で、水のおいしさを体感 —

6月28日(土)、農業・農村の多面的機能や、農業用水の役割・重要性を子供たちに学んでもらおうと「水土里の郷 わくわく探訪」が、潟上市と男鹿市、大潟村で行われた。秋田市と潟上市の小学生とその保護者約70名が参加、ため池や排水機場などの農業用施設を巡り、それぞれの役割を学んだ。

「わくわく探訪(土地改良施設巡り)」は、子供たちに農業水利施設などを見学してもらい、



龍毛ため池で説明に聞き入る参加者

農業・農村について理解と関心を持ってもらおうと水土里ネット秋田(秋田県土地連)が平成9年から始めたイベントで、今年で通算12回目の開催を迎えた。今回は、3年ぶりに秋田管内で行われ、農業用水に係る施設を中心とした探訪が、県秋田地域振興局、八郎潟基幹施設管理事務所、水土里ネット大潟、水土里ネット五里合、男鹿市などの関係機関の協力を得ながら開催された。

今回は、潟上市昭和豊川の龍毛ため池、大潟村の南部排水機場、農業用サイフォン(取水口)、男鹿市の滝の頭湧水などの施設を見学した。

このうち、南部排水機場では、海面より低い干拓地が水浸しになるのを防ぐため、雨水や排水をくみ上げる役割などの説明を受けるととも



南部排水機場内の施設を見学

に、大潟村誕生の経緯についても学んだ。子供たちはノートに要点をメモしたり、排水ポンプな

どをカメラに収めていた。また、ポンプからの排水の模様も実演され、吹き上がる水しぶきに



農業用サイフォンから取水した用水

歓声が上がっていた。

参加した小学生は「環境や水をテーマにした夏休みの自由研究に役立てたいと思って参加したが、排水機の大きさに驚いた」と話していた。

また、午後からは滝の頭湧水(男鹿市)を見学。滝の頭を管理する男鹿市五里合土地改良区の佐々木理事長が歓迎の挨拶を行い、その後寒風山が貯水している地下水のほぼ7割が湧水となって湧き出している湧水源、歴史的な施設の円形分水工、水道水の浄化施設、隣接するため池等を男鹿市や同土地改良区の担当者の案内により、機能や役割について説明していただいた。ここでは、湧水源からペットボトルなどに水をくみ取り、美味しそうに冷たい水を飲み干している子供たちの姿が印象的だった。

水に係わる土地改良施設等を見学した「わくわく探訪」も、参加した子供たちは各地で説明



滝の頭の湧水源、記念写真

に対し熱心にメモを取ったりする姿が見受けられ、ふるさと「あきた」の水や農業に対する関心が広がったことと思います。

今後も、この「わくわく探訪」を通じて、子供たちの「水」「土」「里」に対する理解と関心を広める活動を継続して行きたいと思っている。

## 秋田県 農地・水・環境保全向上対策地域協議会

### ■平成20年度 東北農政局と活動組織との現地意見交換会

7月23日、秋田市御野場地区（御野場地域センター）で「農地・水・環境保全向上対策に係る活動組織との現地意見交換会」が開催され、東北農政局担当職員をはじめ、県内の各活動組織、県及び市町村担当者など約110名が出席した。



意見交換会は、三浦貞一地域協議会長（水土里ネット秋田専務理事）が「この対策は2年目を迎え、

全国でもトップクラスの規模で秋田のふるさとを守り継ぐ県民運動として展開しているが、地域に定着させるには、真に県民に親しまれる制度にして行く必要がある。今年も、共同活動をもっと柔軟に取り組めるように、支部協議会においても活動組織とのコミュニケーションを深めるなど、支部体制を強化していくこととしている。本日は、素晴らしい取り組みや問題点などを発表していただき、明日からの活動に繋がる意見交換をお願いしたい」と挨拶した。



引き続き、農政局担当者から同対策の実施概要や情報提供があったほか、上野あぜみち会（秋田市）からの現地状況視察の報告、県内10活動組織による各取り組みを紹介した事例発表が行われた。



また、共同活動等に関する意見交換では、活動組織から各地域での現状や課題などについて活発な意見が交わされ、各活動組織からは「もっと事務手続き等が簡素化出来ないか」、「交付金の支払時期を早くして欲しい」、「活動経費の資金使途制約が厳しい。もっと柔軟に対応できるように検討してもらいたい」、「事業終了年度以降も、本事業を引き続き継続してもらいたい」などの意見や要望が寄せられていた。



主催した東北農政局の担当職員は、「現地視察や事例発表、意見交換等を通じて地域の実情を知ることができ、活動組織の方々の苦勞を身近に感じることができた。様々な意見、要望等をいただいたが、みなさんには引き続き同対策の推進に向けて、積極的な取り組みをお願いしたい」と総括した。

## 秋田県土地改良事業団体連合会 創立50周年記念式典

日時：平成20年 **11月11日**（火） 午後2時00分～

場所：秋田キャッスルホテル

〒010-0001 秋田市中通1-3-5 TEL.018-834-1141